

4月から水道料金など

消費税5%から8%へ引き上げ

賛成10、反対3で可決

12月定例議会は、11月28日から12月10日までの13日間わたって開かれました。町長から平成25年度一般会計補正予算や、宮代町水道事業給水条例の一部を改正する条例など20件が提案され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意しました。また、町民から「消費税増税の中止を求める意見書を国に提出する請願」が提出され、賛成少数で不採択となりました。

議員提出の「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」は賛成多数で可決しました。一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

12月議会では、今年の4月から、水道料金と下水道使用料、農業集落排水使用料に転嫁されている消費税の税率を、現行5%から8%に引き上げるための条例「改正」案が提出され、賛成10、反対3で可決しました。

■増税による影響額は

消費税率を3%引き上げることによって、年間の負担増はどのようになるのか。
 平成24年度をもとに改定した場合の影響額は、水道料金（水道メーター1分担当金を含め）では年間約2265万円、下水道使用料では約650万円、農業集落排水使用料では約24万円を見込んでいる。

■消費税についての見解を

町長の見解は。
 国の財政赤字は深刻であり、借金を増やさずに社会保障費の増加分を補てんする財源としての消費税という認識である。

一方、消費税の前にやるべきものがあつたのではないかと事業仕分けの成果がどのように具体化され、自主的に財政の健全化に寄与したのか、独立行政法人や特別会計改革な

■今後のインフラ整備は

下水道料金などは外税にし、消費税を転嫁していくのが、今後のインフラ整備などをどう対応していくのか。
 今後、施設に関しては耐震の関係など、調査しながら対応していくことになるが、これがすべて下水道の使用料で賄うということではない。これらについても検討していかなければならない。

【反対討論】 小河原正議員

低所得者ほど負担割合が高くなる消費税増税には反対。

【反対討論】 丸藤栄一議員

消費税の増税は、社会保障の財源を得ることを口実にしているが、社会保障制度は軒並み改善されている。消費税に頼るのではなく、「応能負担」の原則に立つて税制改革し、国民の所得を増やす経済の立て直しで税収増を図るべきである。



昨年の10月2日付で各紙一斉に報道

■消費税率の引き上げによる影響額

※平成24年度決算をベースにより試算

●水道料金	2265万円
●下水道使用料	650万円
●農業集落排水使用料	24万円
合計	2939万円

教育委員・公平委員に女性起用

条例改正

〔町長、副町長などの給与の減額に関する条例〕

問 前々町長の時から削減率は町長20%、副町長10%というのが定着している。変わらないのか。

答 妥当と判断した。必要なら特別職報酬審議会で検討する。

問 一般職と比べものにならない高額な退職金こそ削減すべきでは。

答 そういったことも含めて審議会で検討してもらう。

〔社会教育委員設置および公民館設置および管理など〕

問 改正になった地方教育行政法29条では、首長が教育に関する事務について定める議会の議決を経る議案を作成する際、教育委員会の意志を首長に挙げていくという順序が必要であるが、この手

続きを経ていくか。

答 予算の編成権は基本的に首長の方にあるので、教育委員会からの意見は聞くが、財政のほうで素案を作り、査定後の数字について教育委員会に示す。書類のやり取りはしていない。

問 手続き違反ではないか。

答 手続き論としては指摘のとおり、欠けている部分があるように思う。

補正予算

〔一般会計〕

2079万円を追加し、総額を9億4462万円とする。

問 委託契約の際、町内業者を使うなど地域環境型経済を考えてほしい。

答 町内事業者でも可能なのは優先する。町内に電算業者がいないのでソフト関係などはむずか

しいが、小規模契約は様々な業者にお願いしている。

問 ふるさと納税は合計何人か。

答 寄付者の合計は946人。ほとんどが町外の方である。

問 特別保育事業とは。

答 国の臨時的な補助で、保育園教員の勤務年数加算などに補助。

その他

〔指定管理者の指定〕

須賀小学校の学童保育をNPOかえで児童クラブに指定管理を更新（平成30年度まで）する。

問 市民自治の具現化モデルということなのに、他の小学校の学童保育に広がらないのはなぜか。

答 他の3つの小学校については、新たな子育て支援制度の中で検討する。

人事

○教育委員会委員

深井美智子氏を任命することに同意しました。



○公平委員会委員

布目かよ子氏を選任することに同意しました。



○公平委員会委員

折原正司氏を選任することに同意しました。



「特定秘密保護法」に多くの意見

特定秘密保護法案の撤廃を求める意見書（要旨）

賛成7、反対6で可決し、国へ送付

特定秘密保護法の原案では、特に秘密とすることが必要である事項で「防衛」「外交」「特定有害活動の防止」「テロ活動の防止」について、「特定秘密」に指定するという。しかし、何が秘密に指定されたか国民には知らされず、政府にとって都合の悪い情報を国民の目から隠すことが可能になる。また、マスコミの取材、国民の情報公開を求める取り組みも処罰される恐れがある。



基本的人権や、民主主義を根底から破壊する法律であり、廃案にすべき。

消費税増税の中止を求める意見書に関する請願（要旨）

賛成3、反対10で不採択

消費税を引き上げるかどうかは、くらしと日本経済にとって重大問題。多くの国民が消費税増税を予定通り実施することに反対している。



今、国民の所得が減少し、消費が落ち込み、そのために景気が悪化する深刻な「デフレ不況」が続いている。このようなとき増税すれば消費をさらに冷え込ませ、日本経済を一段と危機に陥れてしまう。増税を中止し、くらしと経済への打撃を止めるべき。

委員会での主な審議

○先進諸国の中で日本は法人税率が高い。国際競争に負けてしまう。まず国際競争力をつけるべきでは。

賛成討論

○その時その時で国にとって支障がある情報は流動し、歯止めのかかない秘密の拡大を許し、国民の知る権利を大きく閉ざす。

反対討論

○税改正を前提とした数々の仕組み、財源措置がなされているこの時期に、中止を求める意見書の実効性に疑問がある。

賛成討論

○1997年、消費税が3%から5%に引き上げられた時、経済成長はマイナス1.5%に落ち込み、以後ほぼゼロ成長だ。

反対討論

○情報がだだ漏れでは守るべき国益が守れない。



合併についての住民意識調査を 町民の認識を正しく把握する必要がある

金子正志 議員

問 合併についての住民意識調査の必要性は。
答 町長 市町村合併は、行政運営にスケールメリットを生かすことができる最大の行政改革であると認識している。

問 調査の日程は。
答 町長 現在、来年度予算を編成中。
近隣首長、議長にもご理解いただいたうえで、町民2000人規模の合併調査アンケートを、町議会議員の皆様と



改良予想図面の完成が待たれる東小学校南側五差路

東小学校南側五差路の交通安全 対策は 信号機設置に向けて改良予想図を完成する

石井眞一 議員



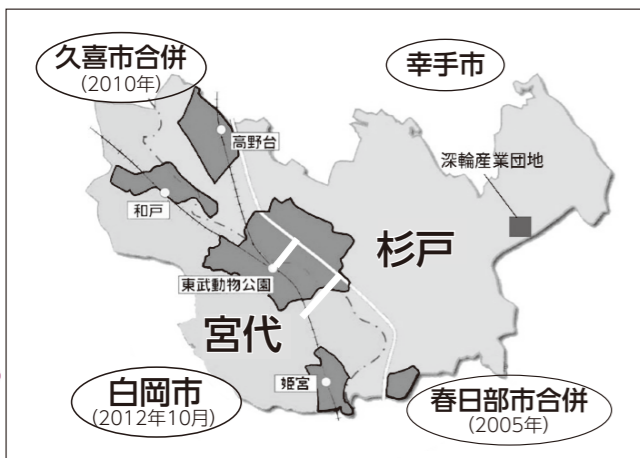
問 改良予想図面作成に向けての進捗よく状況、今後の五差路の安全対策は。
答 町民生活課長 具体的には、11月14日に杉戸県土整備事務所、杉戸警察署、町、埼玉県警察本部を交え、信号機

問 改良予想図面作成に向けての進捗よく状況、今後の五差路の安全対策を進めていきたい。
町長のまちづくりは
問 平成26年度予算編成における重点施策は。

平成24年6月の請願に対する賛成討論において、私（当時議員）は単独での行政運営が厳しさを増すなか、町民が合併についてどう認識しているのか、町長や議員は正しく把握する必要があるという趣旨を述べた。この考えは今でも変わらない。

問 東武動物公園駅東口駅前整備の進捗よく状況は。
答 まちづくり建設課長 この事業は宮代町だけでなく、杉戸町や埼玉県とも歩調を合わせて着実に進めていく必要がある。早期事業化を目指して検討・協議を進める。

市町村合併は最大の行政改革



町政をたただす

一般質問は12月4日、5日、6日の3日間おこなわれました。13人の議員が登壇し、榎本和男新町長の政治姿勢について、道路の安全対策、駅周辺整備など44項目にわたり、町の考えをただしました。ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者が507字以内にまとめたものです。



本会議の様子

一般質問項目一覧（抽選順）

- 1. 石井 眞一 議員 … P7**
 - ① 榎本和男町長のまちづくり
 - ② 宮代町の竜巻対策
 - ③ 東小学校南側五差路の交通安全対策
 - ④ 中島地区新橋通り線（町道第148号線）の拡幅整備
- 2. 金子 正志 議員 … P7**
 - ① 合併についての住民意識調査
 - ② 住民意識調査の日程は
 - ③ 東口駅前の進捗よく状況は
- 3. 伊草 弘之 議員 … P8**
 - ① 町長選挙の結果
 - ② 今後4年間の町政運営に関する基本方針
 - ③ 町職員の人材育成
- 4. 小河原 正 議員 … P8**
 - ① 新町長の財政改革と生活最優先政策
 - ② 公職選挙法および宮代町選挙規則
 - ③ 救急車搬送
- 5. 合川 泰治 議員 … P9**
 - ① 榎本町長
 - ② パソコンの更新
 - ③ いじめ対策
 - ④ 消防組合
- 6. 山下 秋夫 議員 … P9**
 - ① 介護保険利用料の軽減と介護保険制度の見直し
 - ② 和戸駅を中心に御成街道までと、地下道（須賀小中学校）入口までの間を30キロ規制に
 - ③ 須賀中学校校庭東側、踏切より鈴木医院までのグリーンベルト化を
 - ④ 宮代町での主な道路の歩道の整備と、須賀上交差点の右折帯を
 - ⑤ 和戸駅のホームの屋根の延長を
- 7. 田島 正徳 議員 … P10**
 - ① 榎本新町長のこれから4年間の町政運営
- 8. 関 弘秀 議員 … P10**
 - ① 五差路の安全対策
 - ② 町道148号線の拡幅、延伸
 - ③ 「健康マイレージ」の取り組み
 - ④ 宮代町住居表示意向調査の集計
- 9. 角野 由紀子 議員 … P11**
 - ① 進修館のバリアフリー
 - ② 高齢者の肺炎球菌ワクチンに助成を
 - ③ 児童虐待およびいじめ防止
 - ④ 町長の政治姿勢
- 10. 丸藤 栄一 議員 … P11**
 - ① 東小学校付近の危険な五差路の交通安全対策
 - ② 公設宮代福祉医療センター「六花」
 - ③ 東武動物公園駅西口地区の整備
 - ④ 榎本町長の選挙公約
- 11. 加納 好子 議員 … P12**
 - ① 新しい村の付属施設
 - ② 財政基盤としての「子ども・子育て」政策
 - ③ 「在宅医療連携」
- 12. 飯山 直一 議員 … P12**
 - ① 町道252号線、国道16号までの延伸
 - ② 町の組織
 - ③ 敬老会
- 13. 島村 勉 議員 … P13**
 - ① 動物公園駅東口整備
 - ② 地域防災計画の見直し
 - ③ 川のまるごと再生プロジェクト

問 町長 ① 高齢者のための肺炎球菌ワクチンの実施② 中学校3年生の教室にエアコン導入③ 和戸駅改修および西口開発に向け、プロジェクトチームを作り進めていく。
新橋通り線の拡幅延伸は
問 測量調査実施後の進捗よく状況、今後の進め方は。
答 まちづくり建設課長 設計業務を行いながら警察と協議を行っている。警察と協議が済み図面が出来上がった後、今年度中に地元説明会を行うたい。



「みどり輝くコンパクトシティ」の実現に向けて

今後4年間の町政運営に関する基本方針は

総合計画を検証し成長する宮代町を目指す

伊草弘之 議員



問 ①みどり輝くコンパクトシティ、②農のあるまちづくり、③新しい村、④土地利用方針などについて、どのように引き継ぎ発展させるか。
答 町長 質問項目は総合計画に位置付けられた政策である

排水路を改修して衛生的な街を

解消できるよう対処する

小河原 正 議員



問 環境衛生対策として、公共下水道が整備されていない地区の排水路の改修をして、悪臭の発生しない街づくりをすべきでないか。
答 町長 具体的にどのように対処すべきか、分からない

問 環境衛生対策として、公共下水道が整備されていない地区の排水路の改修をして、悪臭の発生しない街づくりをすべきでないか。
答 町長 これまで以上の歳入増、歳出削減に向け、私自身率先垂範し、全ての事務事業を前例にとらわれないことな

問 高齢者が町施設を利用できる総合的な支援を。特にふれ愛センターの利用は、高齢者が生きがいのある日常生活が送れるための対応を考えるべきだが。
答 町長 ふれ愛センターは、日々利用者も減っている。今後は財政が厳しいので、公共マネージメント計画に沿って検討していくが、現在は地域サロンに力を入れてるので、補えると考えている。

未だにある改修されない排水路



4年間で取り組む重点的な課題は

まずは中3教室へのエアコン導入など

合川泰治 議員



問 4年間で取り組む重点的な課題は。
答 町長 任期中に肺炎球菌ワクチン、中学3年生の教室へのエアコン導入、和戸駅改修・和戸駅西口の土地区画整

問 町長室を新たに設置した理由は。
答 町長 対外的な交渉の場でもある町長室はどうしても必要と考えた。特に理不尽なクレーム対応などに対しては、安心して職務に専念できる

問 田んぼの学校の今後
答 町長 開催経費、時間、人材とが見合うシステムになっていないことが問題である。今後の事業継続の可能性は、新しい村の指定管理業務外の事業なので、収支バランスを検討後、関係者の方々がどのように担っているのか、人材の発掘を行っている最中とのことなので、もう少し見守り、調整していきたいと考えている。

一般質問



必要な介護が受けられるよう負担の軽減を

町独自の軽減措置で、負担の軽減に努める

山下秋夫 議員

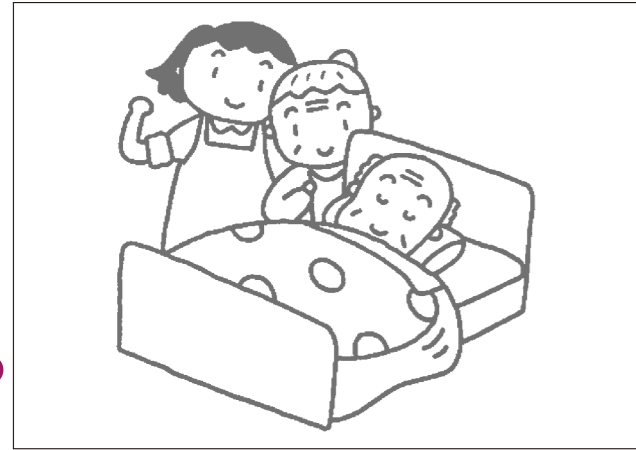
問 介護保険利用者の平均負担額は。また、必要な介護サービスが受けられるよう一般会計からの繰り入れを増額し、利用者負担の軽減を。
答 保険健康課長 認定者数は1294人で、1人当たり

問 介護保険利用者の平均負担額は。また、必要な介護サービスが受けられるよう一般会計からの繰り入れを増額し、利用者負担の軽減を。
答 保険健康課長 法定の制度および町独自の軽減措置により、利用者負担の軽減に努めていきたい。

問 須賀中学校の校庭東側踏切から鈴木医院までの狭い道路を、グリーンベルト化し、安全確保すべきではないか。
答 町民生活課長 須賀中からも要望があり、現在、設置に向けて作業を進めている。

問 町長から和戸駅のホームの屋根の延長を東武鉄道に強く働きかけてほしい。
答 町長 降雨時に町民に不便をかけたため、屋根の延長は必要と考えている。早期の実現を東武鉄道へ要望している。私自身が、和戸駅のバリアフリー化と共に、強く要望を行う予定となっている。

介護保険の改悪は許せない





学校にエアコンを… 子どもと保護者の願い 可能な限り早期に実現したい

丸藤 栄一 議員

問 「小中学校にエアコンを」は、子どもと保護者の願いである。榎本町長は選挙公報で「中学校にエアコン設置」とあったが、具体化されるのか。
答 町長 可能な限り早期に実現したいと考えている。設

置箇所や工法などの慎重な検討を行った上で、必要な予算措置を行っていききたい。
問 普通教室にエアコンを設置した場合、予算はどのくらいになるのか。
答 教育推進課長 小中学校に設置した場合、総額で約2億1000万円、その他夏場だけの経費で約2000万円という試算になる。
問 駅西口前広場の整備は
答 住民から「町の将来の顔、玄関口となる駅前広場として、その大きさが3500㎡で十分か」との指摘があるが。

結果として医療費の抑制につながることを期待するもので、町としても、先進地を参考に今後研究していく。
問 町道第148号線（新橋通り線）の拡幅、延伸は。
答 まちづくり建設課長 測量設計調査業務を実施中で、併せて予備設計をベースに警察との協議・修正を実施。修正図面が出来次第、今年度中に地元説明会の開催、詳細設計を予定している。国道4号線までの延伸は、杉戸町内に補償対象物件も多く、宮代町側からの事業実施を検討。

昨年夏も猛暑でした。小中学校にエアコンを！



高齢者が安心して暮らせる町にね

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種 に助成を 助成に向け、来年度予算編成で調整する

角野 由紀子 議員



問 高齢者の肺炎球菌ワクチン公費助成の考えは。
答 町長 助成する方向で平成26年度予算編成で具体的に調整していく。
問 進修館大ホール、ステーションにあがる階段に手すりを。

問 総務政策課長 手すりの設置など、バリアフリー対策を積極的に進めていく。
問 第4次総合計画の前期実行計画が進行中だが、加速させるものなどあるか。
答 町長 道仏土地区画整理事業、動物公園駅東西口開発事業、和戸駅バリアフリー化土地区画整理事業など「成長する宮代」に集中と重点化を図る。
問 予算編成の基本方針は。
答 町長 ①一般行政経費については、消費税増税分は歳

出削減により財源を生み出し、平成25年度当初予算マイナスイナス2%シーリング（概算要求基準）を実施する。②ハード事業は工程表に従い、着実に進める。③事務事業の総点検を進め、必要性の薄れた事業の全面見直しをも指示。
問 「いじめ防止対策推進法」町の対応、今後は。
答 教育長 「宮代町いじめ防止対策基本方針」を策定し、平成26年3月に「宮代町いじめ・不登校対策推進会議」を再編し、いじめの実態把握や対応策の検討を図っていく。



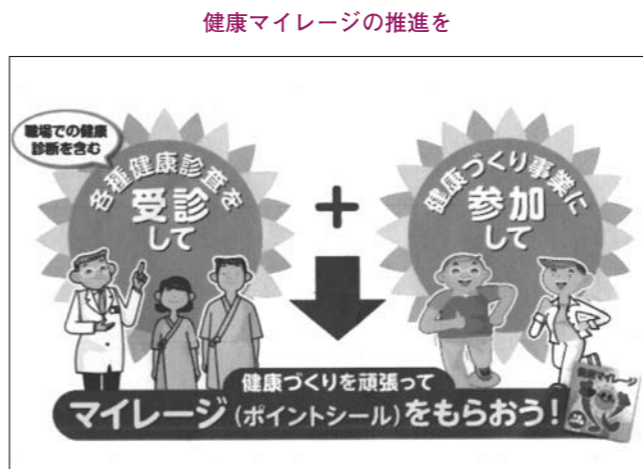
「健康マイレージ」への取り組みは 先進地を参考に今後研究していく

関 弘秀 議員

問 町民の検診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制、また、地域の活性化、人のつながりにつなげる「健康マイレージ」への取り組みは。
答 町長 住民の健康づくり

健康マイレージは、健康診断や運動教室など健康事業メニューへの参加でポイントを貯め、ポイントに応じて特典が受けられる。参加者も楽しみながら健康への関心を高め、多くの方に参加していただき、

結果として医療費の抑制につながることを期待するもので、町としても、先進地を参考に今後研究していく。
問 町道第148号線（新橋通り線）の拡幅、延伸は。
答 まちづくり建設課長 測量設計調査業務を実施中で、併せて予備設計をベースに警察との協議・修正を実施。修正図面が出来次第、今年度中に地元説明会の開催、詳細設計を予定している。国道4号線までの延伸は、杉戸町内に補償対象物件も多く、宮代町側からの事業実施を検討。



榎本新町長を迎えて

榎本新町長のこれからの町政運営とは 「女性感覚」を活かした施策が必要

田島 正徳 議員



問 榎本新町長は、公約に掲げた「女性目線の副町長」とは、具体的にどういう政策なのか。
答 町長 副町長には、町長を補佐し町職員の指導監督する役割があり、女性の考えを

事業に反映することが必要と考える。来年度の副町長も、県からの出向員を要望している。女性目線を活かす観点から、教育委員・公平委員に女性登用議案を提出し、また、女性職員の「主査」登用を積極的に働きかけることを、課長会議で指示した。
問 中学校のエアコン導入計画
答 財政的に苦しい中で、公約に掲げた中学校における、エアコンの導入計画をどのように進めていくのか。
答 町長 地球温暖化の進行など、エアコンの必要性は高

まってきたりしている。高校受験を控えた、中学3年生の教室だけでも早期に実現したい。
問 昨年、扇風機を全小中学校に導入した。受験のため、中学3年生だけの設置ではなく、子どもたち全員が使用する「図書室などの特別教室」に設置する事が平等では。
答 町長 勉強に集中できる環境を整備したい。厳しい財政状況を考慮し、費用の抑制と、設置効果を高めたい。慎重な検討を進め、具体的な内容については、予算編成の中で整理していく。

一部事務組合の平成24年度決算

●埼玉東部消防組合

久喜地区消防組合決算（構成：久喜市・宮代町）

歳入 28億6458万円
（宮代町の負担金 4億6592万円）
歳出 27億 226万円

決算審査意見（要旨）

久喜地区消防組合が解散する特殊な年度であったため、出納整理期間が設定できないにもかかわらず、解散を前提とした年度の予算執行としては、適正であったと判断する。



●久喜宮代衛生組合

構成：久喜市・宮代町

歳入 33億4297万円
（宮代町の負担金 4億9488万円）
歳出 31億7504万円

決算審査意見（要旨）

構成市町では、少子高齢化社会の進行や生活保護世帯の増加など、厳しい財政状況が続くと見込まれる。最小の経費で最大の効果をあげるべく、安全で効果的なごみ処理行政のため知恵を絞られたい。



●広域利根斎場組合

構成：加須市・久喜市・幸手市・宮代町

歳入 2億6409万円
（宮代町の負担金 514万円）
歳出 2億2303万円

決算審査意見（要旨）

財政を取り巻く環境は、税収・地方交付税の減少、高齢化により大変厳しい状況であり、構成市町の負担軽減の推進のため、経常経費の削減・合理化、事務効率の向上、心温まるより良いサービスの提供のため努力されたい。



消防団特別点検における放水訓練



町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

地域防災計画の見直しは 法改正や竜巻の対応について考える

島村 勉 議員

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

一般質問



国道16号までの延伸の統括は 先頭に立って春日部市と協議する

飯山直一 議員

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

宮代町の救世主 国道16号までの延伸



新制度で、子育て支援のレベルアップ



加納好子 議員

新制度での公立保育園民営化 課題はいくつかある

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

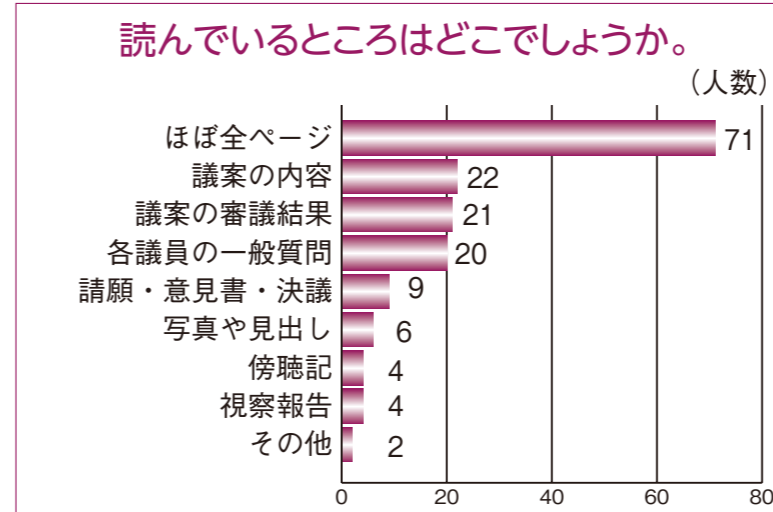
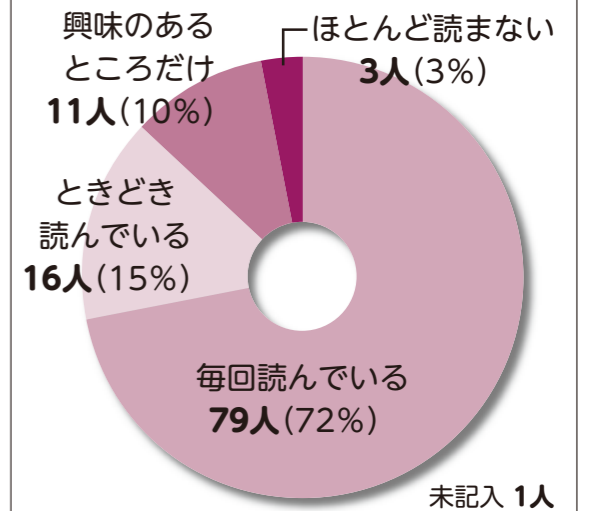
町長 近隣市町を結ぶネの取り組みは、

議会だより アンケート調査結果

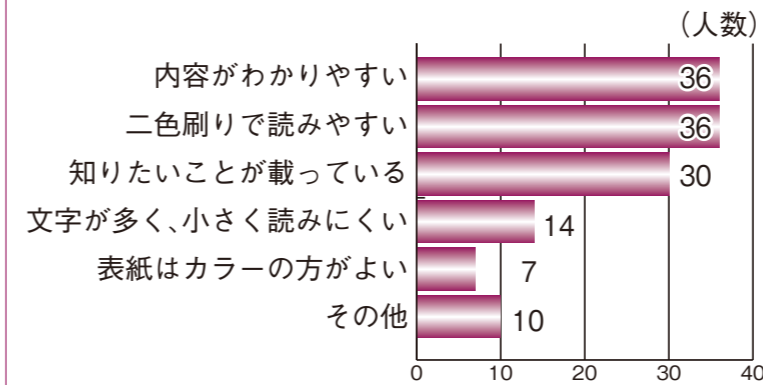
平成25年11月1日から12月31日までに、110人(郵送99人、持参7人、インターネット4人)のみなさまから回答をいただきました。ご協力をいただき、ありがとうございました。ごさいました。

この度のアンケート調査結果をこれからの紙面づくりに活かしていきます。

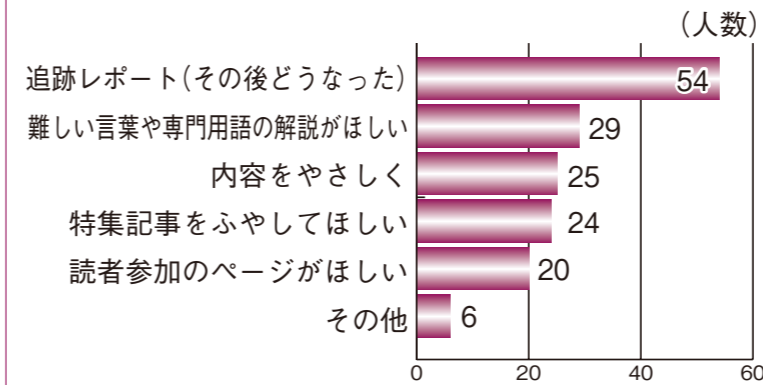
議会だよりを読んでいますか。



「議会だより」にどのような感想をお持ちですか。



あなたは今後どのようなものを望みますか。



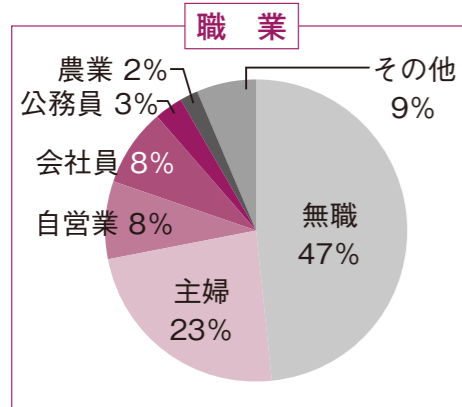
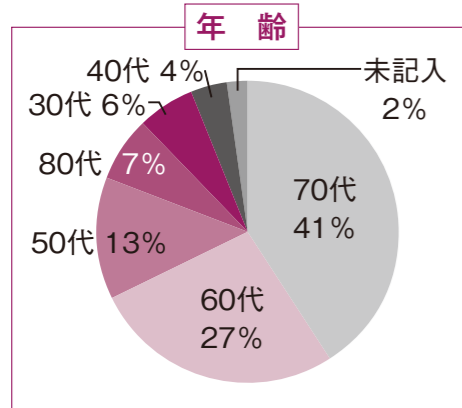
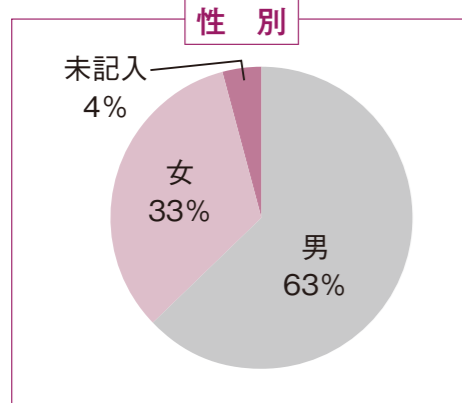
主なご意見

- 町の様子があまりわからないので議会だよりを何度か見直します。
- 限られた紙面で全般にわたって必要なものが網羅されている。
- 文字も大きくたいへん読みやすい。議員一人ひとりの顔写真と関連写真、イラストとわかりやすい。
- 身近に感じられるような話題にしてほしい。

- 議案から審議まで素人でも解るような砕いた文章にしてもらいたい。
- 何をしている写真か説明、コメントがほしい。
- 県道〇〇号線ではわかりません。地図を載せてほしい。
- 傍聴できない町民にとって唯一の情報、もっと詳しく。
- 町長の対応を詳しく。
- 毎回特集で、議員一人ずつの考え方や目標、なぜ議員になったかをインタビュー方式で。
- 紙の印刷代のコストパフォーマンスを検討したほうがよい。

- 記事の内容が遅い。スピード化を要望。
- 「議会だより」は議員さんが作成しているとは、ほとんどの方が知らなかったと思います。もっとアピールしたほうがよい。
- 全体として多少縮小できないか。
- 議員の出席状況を載せる。
- 再考が必要。一般質問はページをさく割に内容がない。
- 「広報みやしろ」とダブルで読んでいる記事もあるのをごえられたほうがよい。
- 数字やグラフを増やしてほしい。

アンケートにお答えいただいた
110人の方々



ご協力ありがとうございました



年間1500万円の売上げのゲストハウス

福祉産業委員会
おもてなしの気持ちで
「株ア・ラ・小布施」
長野県小布施町
年間130万人の観光客が訪れる長野県で一番小さい町、小布施町の第三セクター「ア・ラ・小布施」を視察しました。行政・民間相互の長所を生かして、地域の将来を見据えた経営・文化活動を推進する企業体であるとの経営哲学で、資金、労力、アイデアなどもてる資源を提供し、町の向上を携わった一住民として楽しみあうという。感動したのは、おもてなしの気持ちで人々をもてなすとの気概でした。(福祉産業委員長 田島正徳)



「いいやま住んでみません課」の説明を受ける

視察レポート
総務文教委員会
空き家等の適正管理に関する条例
長野県飯山市
同市においては、条例施行(平成24年10月1日)後一年が経過、危険空き家として、19件を認定し、そのうち所有者が空き家を取り壊したのが4件、緊急安全措置を実施したのが2件あるとのこと。当町においても少子高齢化に伴い、空き家が目立つ状況になっていきます。今回の視察研修を踏まえ、町の懸案となっている空き家問題の効果的な対応については、空き家条例の制定が急務であると痛感しました。(総務文教委員長 石井真二)